

令和 4 年度 学校評価報告書

園 名	三 輪 幼 稚 園
-----	-----------

1 教育目標

『元気いっぱい みわっ子』 ・友達と協力できる子どもを育む ・やさしく思いやりのある子どもを育む ・自分で考えて行動する子どもを育む (八景中学校区共通目標) 人も自分も、学校(園)もふるさとも 大切にできる子
--

2 重点目標

「自分たちで遊びを創りだし、 遊び込む子をめざして」 ～3年間の育ちを見通した 援助や環境構成の工夫～
--

3 自己評価結果

分野領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策	4 学校関係者評価
教育課程	学びに向かう力を育む保育内容の充実 ・夢中になり、試行錯誤しながら目標を達成しようとする遊びや体験 ・仲間とともに協同していく遊びや生活 ・3年間の育ちを見通した教師のかかわり ・互惠性のある異年齢交流	各学年なりに様々な遊びを創りだし、遊び込む姿が見られ、学びに向かう力が育まれてきた。今後は、3年間のみならず、入園前や就学後にも目を向け、長いスパンで子どもたちの育ちを支えていくことが必要だと感じる。	学年なりの仲間との協同が見られ、自信がついたと感じる。また、友達と助け合い、支え合う姿も見られ、幼児期に育てておくべき力がついてきていると思う。学年を超えてかかわりをもつことの意義も、子どもの姿を見ていて感じた。
特別支援教育	幼児一人一人の発達や特性をふまえた支援体制の整備 ・園内委員会の充実と職員の共通理解 ・一人一人に応じた支援計画の作成 ・家庭や関係機関との連携	職員間で情報共有しながら、必要に応じて専門機関と連携を密にし、支援を進めてきた。安心して進級や就学ができるよう、丁寧な引き継ぎにも力を入れたい。	悩みを相談できたり、気持ちに寄り添ったりすることはとても大切である。今後も、園と家庭と関係機関が良い関係を築き、必要な支援につなげてほしい。
子育て支援	親と子が触れ合い、仲間づくりができる交流の工夫 ・親と子が安心して集える場の設定 ・子育て相談の充実	園庭開放を4回実施し、在園児、未就園児、保護者が交流を深めることができた。絵本の貸し出しは、親子の温かい触れ合いの時間につながった。	コロナ禍でもできることを続けてきたことに意義がある。今後もできることを探りながら、工夫して進めていくことが重要である。
校園所連携	保幼小中連携の推進と小学校への円滑な接続をめざした取り組みの推進 ・保幼、保幼小、幼小交流の推進 ・異校種の職員連携交流の工夫 ・中学校区連携推進への参画	担当者会では、主体的に取り組んでいる現状を伝え合うことができた。今後も育てたい子どもの姿を中心に置き、連携を深めていきたい。	見たり、聞いたり、経験したりする中で、“分かる”“知る”ことは大きな安心感につながる。今後も取り組みを続けてほしい。

5 総合的な評価結果

今年度の重点目標を基に、遊び込む子どもの姿をめざして取り組みを進められた。3年間の見通しをもって保育を進めることで、教師の資質向上にもつながった。

6 総合的な学校関係者評価

5歳児をみて、一人一人の個性の輝きと、集団のまとまりを感じ、3年間幼稚園で過ごした成果が感じられた。その力を社会との交わりの中で、発揮して行ってほしい。
--